

- 台付ワイヤーは吊り作業には使用出来ません -

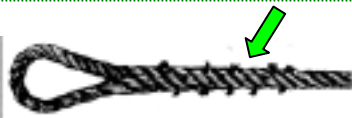
ワイヤーには玉掛け用と台付け用がありますが、当然用途が異なります。台付けは太さは同じでも、編みこみ部分の強度が低く設定されています。台付けワイヤーは吊り作業に使用することはできません。

玉掛けワイヤー：吊り上げ作業用 **台付けワイヤー：緊結固定用**

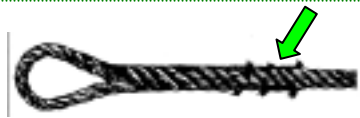
間違っ使用しないために見分ける方法を知ってください

見た目は殆ど一緒がわかりにくいのですが、下記の特徴で見分けてください。

玉掛けワイヤー：
編込み部分の
ひげが 12本



台付けワイヤー：
編込み部分の
ひげが 6本



の状態を参考にして下さい
(右の写真のワイヤーは錆の面でも使用禁止です)

(ストランドの端末)



新発田建設の安全ルール

§ . 現場で使用するワイヤーは持ち込み時に当社の担当者による点検を受けてください。使用に適したワイヤーであれば月例点検の識別用テープ(色付きビニールテープ)を編みこみ部分に巻いて管理を致します。

また、圧縮止めのワイヤーについては区別無く**全て玉掛け用**として使用できます。

但し、カシメ部分に製造者の刻印が無いものは**規格外品**ですので使用禁止と致します。